

健康と光線

急増するアレルギー性疾患

杉の花粉が飛散する春先になると、テレビを始めマスメディアは一斉に花粉情報を流します。しかし、たかが杉の花粉で、こんなに大騒ぎをするようになつたのは、精々ここ10年前後のことです。信じ難いかも知れませんが、昭和30年代には、杉の花粉が花粉症を起こすことに気が付いていたのです。

しかし、たかが杉の花粉で、こんなに大騒ぎをするようになつたのは、精々ここ10年前後のことです。信じ難いかも知れませんが、昭和30年代には、杉の花粉が花粉症を起こすことに気が付いていたのです。

アレルギー性疾患の原因は何か

アレルギー性疾患の中でも、一躍有名になった杉花粉症でいう

日本人に起きた何かが日本人の体质(内因)を変えたと考えざるを得ないのです。

しかし、原因究明は、外因の論議で大半は終わっています。

レルギー性疾患は軒並み猛烈な勢いで増えています。そして今や、日本人の30%から40%がアレルギー体質といわれるほど急増しました。

では、何故、それも最近になって、アレルギー性疾患は急増したのでしょうか。

アレルギー性疾患の原因は何か

アレルギー性疾患の中でも、一躍有名になった杉花粉症でいう

アレルギー性疾患の光線療法

医 学 博 士 サナモア中央診療所 宇都宮

光明

つまり、アレルギー性疾患を誘発し、悪化させる外因について、これまで、戦後、大々的に杉の植林をしたために飛散する杉花粉の量が増えたとか、山の麓に舗装道路や家屋ができたため花粉が飛散し易くなつたと説明し、マスクをして花粉を避けるように指導します。このようにアレルギー性疾患の原因として、環境因子(花粉症ではスギやブタクサなど)、食事(牛乳や卵を始め、極論すれば大部分の食物)、

されますが、これでは間違いないしに栄養失調になってしまいます。

アレルギー性疾患の原因として、環境因子(花粉症ではスギやブタクサなど)、食事(牛乳や卵を始め、極論すれば大部分の食物)、

合な症状を引き起こすために行なわれています。すなわち、抗原を避けることでアレルギーを防ぐということですから、アレルギーを起こしてから対症療法治をするよりはましかも知れませんが、しばしば過度の恐怖心を抱かせる恐れがあります。殊に食物については難しい問題があります。されでは患者は救えませんし、患者の増加を防げませんから、将来に亘って益々アレルギー性疾患は増え続けると予測さ

ります。すなわち、アレルギーを誘発する要因として、今の豊かな食事があらかた悪者にされていますので、眞面目に守ろうとする」と食べるものがなくなつ

てしまします。私は半ば冗談で、「素うどんだけでも、それできれいになります。アレルギーを起こす外因を見付けて禁じることが必要としているのです。すなわち、花粉に接しないようにしろ、牛乳や卵を食うな、よく掃除をして部屋を清潔にしダニを除け、室内でペットを飼うな等々です。これを専門用語で抗原回避指導といいます。

抗原回避指導は、アレルギー性疾患の人は前以て抗原(外因)で感作されていて、これに対応する抗体(内因)を体内に持つてゐるため、次の機会に同じ抗原が作用すると抗原抗体反応を起こし、不都合な症状を引き起こすために行なわれています。すなわち、抗原を避けることでアレルギーを防ぐということですから、アレルギーを起こしてから対症療法治をするよりはましかも知れませんが、しばしば過度の恐怖心を抱かせる恐れがあります。殊に

この観点から、サナモア中央診療所では各種アレルギー性疾患の治療をする際、原則として禁止事項をもうけることなく、禁止めることなく、カルシウムを多めに摂取すること以外は食事も自由にして、光線療法を継続して使用し、明らかな効果を認めています。これは光線の内因(免疫応答の調節)を強化する作用がアレルギー性疾患の治療に効果のあることを示しています。

外因を避けるだけの治療で良いのか

発行所
〒153 東京都目黒区目黒
4-6-18
サナモア光線協会
年4回発行
会費年500円
電話 東京(03) 3793-5281
3712-5322



宇都宮義真撮影

誤解のないようにして貰いたいのですが、病名はあったほうが多いことはいうまでもあります。第一、安心感が違います。でも、病名が分からなければ、絶対に治療をしてはならないものなのでしょうか。薬や手術が進歩していくなかった昔は、病名は余り重要視せず、何処でも悪いところに手を当てて治療したはずです。そのため、今でも治療することを手当てをするといつておられるくらいです。しかし、薬物療法や手術療法が発達するにつれて、病気の治療は薬を使うか手術をするかしかないと思われるようになると、病名がないとどうしても治療ができないということになつたのです。これは、薬も手術も、一方に良いければ一方に悪いという場合が多いからです。

万病の特効薬もある

名に関係なく使われている場合

そうは言つても、薬でも、病名で、半年も一年もかかる精密検査を受け、いよいよ病名は分かつたが、効く薬もなければ手術もできないということもあります。

光線療法の特徴

病名は分かつたが治療法はない

病名が分かれれば、恐らく薬ができますが、必ず効く薬があるかといえば、どうでもありません。例えば、よく知られているように、風邪薬と称する薬がいくらあっても、未だに本当に風邪のウイルスに効く薬はないのと同じです。そのため、難しい病気でも、半分も一年もかかる精密検査を受け、いよいよ病名は分かつたが、効く薬もなければ手術もできないということもあります。

「健康と光線」
昭和37年6月5日発行
一病名不要の治療法があつて

治療に病名は必要か

か熱があるとかすると、薬を貰わないと我慢できません。そこで、解熱鎮痛剤（アスピリンのような薬）という重宝な薬が多用されることになりますが、あくまで一時しのぎの対症療法に過ぎませんから、病気を治すだけの力はありません。それに拘わらず、いろいろな病気で特効薬のように使われているのは、自然良能で治ったのを薬で治つたと錯覚しているからです。

誤解のないようにして貰いたいのですが、病名はあったほうが多いことはいうまでもあります。第一、安心感が違います。でも、病名が分からなければ、絶対に治療をしてはならないものなのでしょうか。薬や手術が進歩していくなかった昔は、病名は余り重要視せず、何処でも悪いところに手を当てて治療したはずです。そのため、今でも治療することを手当てをするといつておられるくらいです。しかし、薬物療法や手術療法が発達するにつれて、病気の治療は薬を使うか手術をするかしかないと思われるようになると、病名がないとどうしても治療ができないということになつたのです。これは、薬も手術も、一方に良いければ一方に悪いという場合が多いからです。

誤解のないようにして貰いたいのですが、病名はあったほうが多いことはいうまでもあります。第一、安心感が違います。でも、病名が分からなければ、絶対に治療をしてはならないものなのでしょうか。薬や手術が進歩していくなかった昔は、病名は余り重要視せず、何処でも悪いところに手を当てて治療したはずです。そのため、今でも治療することを手当てをするといつておられるくらいです。しかし、薬物療法や手術療法が発達するにつれて、病気の治療は薬を使うか手術をするかしかないと思われるようになると、病名がないとどうしても治療ができないということになつたのです。これは、薬も手術も、一方に良いければ一方に悪いという場合が多いからです。

誤診ならどうする

尤も、すべての人が正しい診断を受けられればそれに越したことはありませんが、診断は甚だ困難なこともあります。名医も往々誤診することがあります。その

病名不要の治療法があつてもよい

宇都宮 義真

元もとは太陽光線の作用を応用した光線療法は、薬や手術と違つて何病かの治療法として作られたものではありません。その根本原理は、自然良能（自分で治そうとする力）を高める点にあります。したがつて、大体において病名に関係なく効果がありますが、実際に使う方の多くは、まず薬物療法や手術療法を試してみて、その効果に満足できない場合です。でも、そんな習慣は捨てて貰つて、始めから使う方がずっと良いのです。病名が決まる前でも気にしないでください。その時期の方が治疗り易いのです。

これをものに例えるなら、自動車は道路や橋が分からぬと走れないから飛行機にしようといふようなもので、飛行機なら道も川も調べる必要はないのです。光線療法が、光線療法に慣れ親しんだ一般の人びとに喜ばれているひとつの理由は、さほど診断にこだわらなくても良いからでしょう。

光線療法の特徴

病名は分かつたが治療法はない

ためかどうか知りませんが、誤診は罪になりません。しかし、もしも誤診で薬を飲まされたのでは、無駄であるばかりか、治療には却つて有害なはずです。

もよいー

偉大な足跡を
偲ぶ

宇都宮
光明

上野 貞先生が、平成3年3月9日の朝、急性心不全で突然倒れられ、午前8時30分に不帰の客となられました。その訃報に接した時、事の意外さに茫然として、闇夜に光を失った思いで立ちすくんでしまいました。先生は、正に掛け替えのない道標だったのです。

3月10日、午後7時から通夜、3月11日、雨の中、午前10時から告別式が、ご長男の上野健太郎先生を喪主に、参列した総べての人々の深い悲しみの中に、神



告別式
於基督教會館

式に則つて厳粛に執り行われました。

告別式では、兵庫県療術師協会会長、伴茂氏より、故人の徳を讃え、面影を彷彿とさせる弔辞が読みあげられ、会葬者一同に深い感銘を与えました。

ウエノ光線療研会長 上野貞先生には、
平成三年三月九日、午前八時三十分、急性
心不全で逝去されました。享年八十八歳。
同日、近親者による仮通夜がご自宅で
営まれ、追って神戸の仏教会館に於いて、
三月十日、午後七時より本通夜、翌三月十一
日、午前十時より告別式が、厳肅なうち
にも、しめやかに執り行われました。

上野 貞先生急逝

になろうとは考へてもみませんでした。

世話をした多くのサナモアの愛用者やお弟子さんに囲まれて、ま

先生は、その人柄、見識、そして並外れた行動力で、つとに英名を馳せていました。関西を拠点にサナモア光線療法を普及したのは、偏に先生の尽瘁の賜物です。今次大戦の敗戦により、身ひとつで樺太から引き揚げられ、戦後の混乱の真っ只中に神戸で光線治療を始めた頃のことです、本年の一月号に、『リュックサックの思い出』の題で書いて下さいました。顧みて、先生が私ども後輩に、信念を以て努めよと叱咤激励しているように思われてなりません。

サナモアと四十八年、先生はひたすらその普及に尽力されました。その甲斐あって、先生が

たお仕事の大半を健太郎先生に任せられて、悠々自適、百才まで生きると言わっていましたのに、忽然として幽明境を異にされてしまいました。正に痛恨の極みです。しかし、先生の熱心な指導と熏陶によって成長した多くの後進が、先生の偉大な足跡を偲び、先生の意志を継いで、先生が意図したことを作成し遂げるため、満身の力を注いで活躍しています。どうか、冥界から見守ってください。

母の思い出

せを受けて、当時住んでいた薩摩半島の南端から大分まで、やっとの思いで切符を手に入れ、腰掛けが板張りの鈍行列車にゆられ、木炭バスやトラックを乗り継いで会いに行つたのです。周囲の親戚の批判や反対を押し切つて、自分

の主人さえ信用してくれない状況での行動ですから、その決断力と実行力には頭が下がります。このバイタリティーが、その後の活動の推進力になったと思います。

とりとめもないことを記しましたが、生前のご厚誼に深謝し、会葬のお礼とさせて戴きます。

車には乗れ 木戻ノフヤード
ツクを乗り継いで会いに行つ
たのです。周囲の親戚の批
判や反対を押し切って、自分

とりとめもないことを記し
ましたが、生前のご厚誼に深
謝し、会葬のお礼とさせて戴
きます。

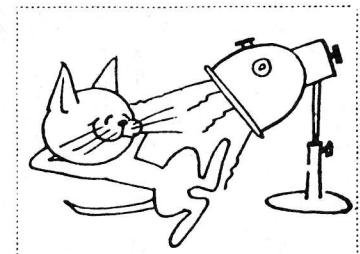
ウエノ光線療所

上野健太郎 緑療所

☆眼底出血

症例
80歳
女性

分、小脳（後頭部）30分、その他はAカーボンで、腹5分、膝5分、足裏20分、腰5分、背5分、朝夕二回照射した。その結果、数日にして眼は少し動くようになり、症例1は二週間で、症例2は一週間でほぼ治癒した。なお両名ともサナモアを持っていたので、続けてAカーボンで照射するように指示した。



—告報例驗治—

症状 残った片方の眼も数年前に白内障と診断されている。今回、角膜に視力がなくなつたため眼科を受診したが、原因は白内障ではなく、眼底出血のため手術はできないと診断された。

療法経過 眼はBカーボンで縫合後、他の部位、すなわち後頭部、咽頭部（甲状腺）、肩甲部、背腰、足部（肝臓部は入念に）はAカーボンで気持ちの良い間隔で縫合した。

治療を始めて四五日後には視力が出始めたが、継続して治療するよう指示した。

春日市 育美健光緑療石
前田 ミサ氏報生

☆ブドウ膜炎
症例 51歳 女性

愛用者だより

長い間中耳炎で苦しみ、思
いあまって大学病院で手術を
受けました。これで治癒出来
ると期待していたのですが、
術後の調子が悪く、形成術し
た鼓膜に穴があり、膿が出て
くるようになり、頭が右半分
どんどんよりして自分の頭でない
ような感じでした。抗生物質で
を飲んでもその時だけで、薬
を止めると又繰り返しです。
姉の紹介でワラをも掴む思い
でサナモアをかけ始めました。

☆10月に出産予定

川崎市 四宮香子

始めのうちは液が大量に流れ出ましたが、徐々に出なくなり形成した鼓膜は1回穴があくと駄目だといわれていたのですが、穴が少しづつ小さくなり、約4ヶ月かかって閉じてしまいました。現在は、水泳しても良いといわれています。なお、15年来のジンマシンでヒスタミンと縁が切れなかつたものですが、自然に治てしまい薬は一切飲まない主義になりました。カゼをひかなくなつたことも含めサナモアの恩恵に感謝しています。

者は光線療法を始める四年前から、眼の痛み、眩しさ、瞼のような涙を訴え、眼科で虹彩、毛様体、脈絡膜の炎症（アドウ膜炎）と硝子体の混濁を指摘され治療を受けたが改善の兆しがなく、紹介されて来院した。本例は結節性紅斑を合併しており、ベーチェット病を疑われ、視力低下の恐れがあると言われていた。

療法経過

適宜、A B カーボンとB D カーボンを合併して照射法を用いた。照射部位ならず、時間は側臥位で顔（眼瞼部）、膝裏、足裏、足首、腰、膝、腹部、仰臥位で左右の耳、肩、横腹、膝横、足首に各10分である。治療を始めてから、眼症状は一進一退を繰り返したが、徐々に結膜の充血が見られなくなり、自覚症状も改善したので、平成

1年2月から、時々通院治療を
しながら主に自宅治療にした。
川崎市 東京光線治療院

サナモアカーボンの 類似品にて注意下さい

サナモア A、B、C、D カーボンは、その使用法を書いた著書「光線療法学」ともども愛用者各位の御信頼を頂き全国津々浦々まで高い評価を受けておりますことは、皆様方よくご存知の通りであります。

ところが他社製カーボンに「光線療法学」をセントしたり、サナモア ABCD と効果が同じという根も葉もないいう文句で互換表を添付して販売している業者がいます。もとより、このような道理にのとる行為をする者が何時の世にもいますが、当研究所としては他社製カーボンを使用した場合の効果について一切の責任はもてませんので與々もご注意下さい。

(サナモアカーボンには、製造元イビデン株式会社の商標 B-I のマークが必ずついてます。)

Dカーボンは、その使用法を書いた
とともに愛用者各位の御信頼を頂き
評価を受けておりますことは、皆様
あります。

ボンに「光線療法学」をセットした
と効果が同じという根も葉もないう
付して販売している業者がいます。
道理にもとる行為をする者が何時も
研究所としては他社製カーボンを使用
て一切の責任はもてませんので、人々
には、製造元イビデン株式会社の商
ますついてます。」

東京光線療法研究所

光線療法の脳障害、

時差ボケに対する治療効果

ウェノ光線療所 上野 健太郎

緒言

光線の作用を利用した光線療法を、脳梗塞ならびに脳血管性(老人性)痴呆の治療に応用して得られた成績と、時差ボケ(時差症候群)の回復に用いた結果について報告する。

症例および成績

(1) 脳梗塞

症例 80歳 女性 体重80kg
本症例は同居している実母である。
昭和60年1月31日、夜の二時過ぎ、炬燵に手をついて立ち上がりうとした時、急に頭がクラ

て倒れた。直ぐに呼ばれて側に寄って見ると、左半身が痺痺していた。直ちに、身体を動かさないでそのままの姿勢で光線照射を始めた。先ず、右側頭部を2時間、その後、足裏を2時間連続して照射した。それからパジャマに着替えさせて布団に寝かせた。翌日からは、頭部に30分、足裏に1時間照射したほか、腹、腰、背、顔面、膝に各10分の照射を一日に二回、三日間行った。

四日目には倒れてから生じた左の腕にあつたむくみが無くなり、左手、左足の感覚が少し戻った。その後は、各部位の照射時間を10分にし、一日二回にしたが、この頃から病人が自ら治療器を操作して自己治療を始めた。な

お、カーボンはAB、ADの組み合せを交互に使用した。発作を起こし治療を始めて三週間過ぎた頃には、杖なしで部屋の中を歩けるところまで回復し、九週目には普通に歩いて出掛けるようになった。

発病して三ヶ月目に精密検査のため初めて病院に行き、脳のCT検査を受けたが、検査の結果は病変の痕跡が見当たらないとのことであった。その頃には、起居動作は全く元に戻ったが、左手の指先に薄紙を貼ったような違和感が残っていると訴えていた。しかし、八ヶ月経ったとき、本人も完治を実感し

た。

奥さん始め、子供さん達の不安、動搖、更に恐怖が全く解消するようになり、元の家族が戻ったのである。

(2) 脳血管性(老人性)痴呆

奥さんの話では、商事会社の部長を勤め、穏やかな人柄で大きな声を出すこともなかつたが、定年の二年前に俗にいう窓際族になり、その一年後頃から痴呆症状が出てきたという。

ズボンを穿こうとして足がうまく通らない。イライラしてズボンを掴んで投げる。ベルトを抜いて投げるときもある。奥さんが「どうしたの」と声をかけると、ブツブツ言いながら怖い顔をして睨む。「うるさい」と怒鳴る。帰宅して玄関のドアがロックされていると、ハンドルをガタガタいわせて家の者が開けるまで止めない。その間も大聲で怒鳴るので、隣家人の人を驚かせたこともある。こういった調子で、あの温厚な人がと驚くほどの変わり様であった。

退職してから、更に輪をかけたように酷くなる。トイと外に出掛ける。歩くのも前につんつたのである。

奥さん始め、子供さん達の不安、動搖、更に恐怖が全く解消するようになり、元の家族が戻ったのである。

(3) 時差ボケ(時差症候群)

症例 52歳 男性
(六ページへつづく)

退職して五ヶ月後に、紹介されて来所、光線療法を始めることになった。

光線療法は、顔面、後頭部を中心にして、ほかに全身照射として足裏、膝、腹の前後、背に各10分、一日二回を標準にして続けた。概ね指示した通りにやっていたが、一ヶ月余りして、奥さんが「大分変わってきた」という。大声で怒鳴るのが減った。苛つくのも少なくなった。

瘠にさわって物に当たったり、怖い顔をするのも見られなくなつた。三ヶ月位する頃から、歩き方が変わり、余りセカセカしなくなり、帰り道が分からなくなることもなくなつた。一年経つた頃、目に止めることもなかつた書物を手に取つて見ている。その後、二年間ご無沙汰していなかった年賀状を自分で書くようになつたのである。

(五ページよりつづく)

本例は光線療法について約10年のキャリアがあり、病気の治療には使っている。

久し振りに会った時、「弱ってるんだ」と時差ボケについて相談を受けた。要点は、社用で年に二、三回の海外出張があり、

一回行くと一ヶ月から二ヶ月位滞在するが、三、四年前から、

出張する度に一週間位時差ボケが続き、疲れるし、眠れないし、集中力や判断力が鈍くなるのが分かるという。

そこで、時差ボケ（時差症候群）を起こす理由は、ジェット機のような高速交通機関で遠隔地に移動した際に、日照がもたらす外界の昼と夜のリズムが、身体が記憶している昼と夜のリズム（体内時計）と合わなくなるために、この生体のリズムは、光線が視覚を介して自律神経・内分泌系の中枢に作用して形成されることを説明し、是非とも光線療法をするようにすすめられた。

具体的には、ADカーボンで、

顔面30分、後頭部と背中に合わせて30分照射するように指示し

た。この際、目からの光の刺激が最も大切なことを話した。

その後、これまで五回の海外

出張の経験では、光線療法をす

ると調子は良く、時差ボケは大体二日位で平常に戻るようになつた。なお、体内時計の0時前後に照射した時は、一日で回復したと言っていた。

総括

光線は光化学物質（光産物）を生成し、その作用を介して、血管を拡張し、心拍出量を増し、全身の血液循環を改善するため、脳梗塞や脳血管性痴呆のような脳血管の血行障害の治療に有益な効果がある。また視覚を介して自律神経・内分泌系に作用し、精神状態や日周リズム（体内時計）を調節していることも明らかにされている。

（本論文は、平成2年11月に開催された第二回日本療術学会において発表した内容をまとめたものである。）

時差症候群の成因に、視覚を介する光線の作用が関与していることは、今では疑問の余地はない。したがって、この面における光線療法の効果については、今後、更に事例を増やして検討を重ねる所存である。

戦うという意識、姿勢が大事で

ある。その際、光線療法は威力ある頼りになる武器になる。独

断と偏見の誹りを受けるとしても、光線療法さえあれば、ボケは恐くない、と憚る事なく言いたい。

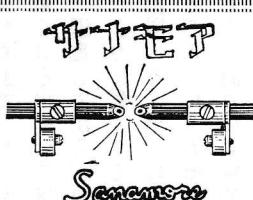
サナモア体験談募集

者だより」として掲載させて戴きましたが、サナモアのさまざまな効果は体験しないと信じられないところがあります。そこで「サナモア体験談」を募集しサナモアの理解に役立てたいと存じます。については体験談を原稿用紙2枚程度にまとめてお送りください。なお原稿をお送りください。なれば薄謝を贈呈します。

協会では、会員を募集しております。
入会希望者は、左記宛申込み下さい。
〒153 東京都目黒区目黒4-6-18
（サナモア光線協会TEL(03)3793-1528-18
(本紙の無断転用を禁止します。)

天地創造の昔から、眞の光、即ち太陽光線は、私たちに限りない恩恵を与えています。サナモア光線療法は、この太陽光線の健康増進、疾病予防および治療効果を利用した治療法です。従つて、目に見える可視光線だけではなく、目に見えないが無くてはならない紫外線や赤外線を目的に応じて適切に放射しなければなりません。このサナモア愛用者を以て、光線療法の研究を行うと共に、啓蒙普及活動を行うためサナモア光線協会を設立しました。サナモア光線協会は、設立の趣旨に賛同載いた会員にて構成し、季刊紙「健康と光線」を発行します。

サナモア光線協会
医学博士 宇都宮 光明



サナモア光線協会
趣意書